



# 市民のいのちと暮らしを守り抜く 公約実現へ 頑張ります！ 引き続き、よろしくお願ひします



4月の市議会議員選挙でのご支援、本当にありがとうございました。今後は、日本共産党の一員として、引き続き、かけた公約の実現に取り組んでいきたいと決意しています。どうぞよろしくお願ひします。

## 主な公約と今後

### ① 学校給食費を全員無料に

区内では、新しく大田区で6月から無料化されることになりました（補正予算で約18億8600万円を計上）。

すでに完全無料化を実施しているのは、世田谷・品川・荒川・中央・台東・葛飾・北区や、奥多摩町・松原村、三宅村、利島村、御蔵島村です。

狛江市でも第3子（140世帯）対象にとどま

らず、すべての小中学生の無料化が必要です。議会では日本共産党狛江市議団（4人）が要求していくとともに、署名や請願活動にひきつづき取り組みます。

### ② 物価高騰への暮らし支援

物価高騰が続くもと、国の補正予算の活用と市独自の乗せで、暮らし支援対策を緊急に行うことが求められています。日本共産党狛江市議団は5月23日、松原市長に対し、①学校・子ども医療費無料化、②中小業者や医療・介護・福祉・保育施設等への電気代等物価高騰対策支援、③補聴器購入補助、④ひとり親家庭、若者への家賃補助、⑤低所得者へのエアコン購入・電気代補助の実施を求め申し入れをおこないました。

（裏面に続く）

# バス路線回復・PFAS汚染・図書館移転問題

## ③バス路線の廃止・減便への回復策

京王バスの路線廃止（ハイタウン一ツツツヶ丘駅）、小田急バスの減便（ハイタウン一喜多見駅）による交通不便解消に向けて、調査活動やバス会社との交渉など、これまでの到達を踏まえ、取り組んでいきます。



、狛江市に要請(3月)



## ⑤図書館分割・移転止め 現在地で拡充

突如打ち出された図書館分割・移転計画が、市民合意のないままに強引に進められています。とりわけ、図書館の分割で不便になることへの意見・要望が多く出されており、4200筆以上の「ちよつと待って図書館移転」署名が集められています。図書館は分割・移転ではなく、現在地での拡充こそ必要です。

## ④PFAS(有機フッ素化合物)地下水汚染対策

発がん性などが指摘されるPFASは、狛江市の地下水からも基準値の8倍を超える汚染が明らかになっています。多摩地域の住民への影響では、血中濃度が高いことも明らかになりました。実態解明と対策が急がれます。国・都・狛江市に市民の不安に寄り添った対応を求めています。

市民団体を立ち上げ、疑問・不安に答える学習会開催(6月12日)や大学の研究でおこなわれる狛江市民を対象にした血液検査(6月27日)に協力するなど、具体的取り組みをすすめています。

市民が誇りに思える図書館・公民館の実現のため、みなさんの声を聞きながら引き続き取り組んでいきます。



今回の図書館分割・移転を含む市民センター(公民館・図書館)改修計画は、施設の利便性の問題とともに、狛江市が条例を定めて大切にしてきた「市民参加と協働」のプロセスに沿わないやりかたです。すめられている疑いがあり、狛江の民主主義のありかたが問われる問題でもあります。いったん立ち止まって、市民参加で再検討することが必要です。

「狛江市民センター改修基本設計および狛江市新図書館整備基本設計に係る市民説明会」が①6月1日、3日に開催され、進捗状況についての説明がなされます。市HPに現時点での改修図面案が掲載され、図書館の分割・移転先(市役所から400メートル離れた現在の駄倉地区センターに建設計画)の建物の中身の配置案が示されました。しかし詳細な説明はなく、蔵書数がどうなるのかなどはしめやれつつもかん。

## ■岸田政権の大軍拡・大増税をストップさせること、入管法改悪法や原発推進法、マイナンバー強制法などの悪法に反対を貫く(強行されたものには抜本的改正を求めていく)こと、インボイス中止などにも取り組んでいきます。その他、

気候危機打開対策の抜本強化や補聴器購入補助制度、松原市政を市民目線でできやすくチェックする取り組みなど、他の公約実現を含め、4人の日本共産党市議団と協力して取り組んでいきます。

ぜひ、「ご意見やご要望などお寄せください。暮らしのお困りごとなどについても、お気軽にお寄せください。」

[連絡先] = 090-1775-9052